

大阪府施行3カ月 認定2件のみ

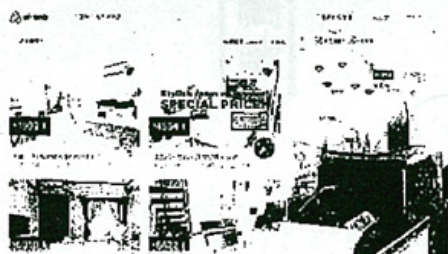
民泊条例はや形骸化

要件厳しく違法はびこる

飯事だが、警察には「制度の移行期だから」と相手にしてもらえない。早く制度を整えてほしい」と訴えている。

■1年で70倍

昨年10月に全国初の民泊条例を制定した大阪府は、平成28・27年の宿泊施設の客室稼働率が2年連続で全国1位。条例はインバウンド(訪日外国人)需要を逃さない妙手になるはずだったが、施行以降の認定施設は2件にとどまる。



大阪府の民泊条例 民泊新法(案)

知事・市長の認定	営業許認可 手続を 行政(所管は未定)に ネット登録	1泊～
6泊7日～	宿泊日数	180日以下の適当日数
なし	年間営業制限	設ける方向
25平方以上	面積	必要
必要	宿泊者名簿	必要
住居専用地域や 工業地域なども可能	用途地域	住居専用地域でも 可能

メールでやりとり／室内は快適

民泊仲介サイト「Airbnb(エアビーアンドビbnb)」で大阪府中央区に絞って検索すると、周辺地域に加え、周辺住民への周知義務なども課せられ、条例に基づく民泊は「使い勝手

が悪い」(不動産関係者)。政令市の大阪府が府条例の対象外となっている影響も大きい。市でも同様の条例が今年1月に成立しているが、運用開始は10月以降だといふ。

■秋にも改正案

一方、違法民泊は宿不足を背景に増加を続ける。Airbnbによると、ミナミなどの繁華街がある大阪府中央区の27年の民泊の宿

東京五輪が開催される32

泊実績は前年の70倍に増え、伸び率は世界一。「和」の雰囲気を感じた旅館や飲食の無料提供などサービス合戦も活発化しているが、旅館業法に反することになり、住民トラブルなどの問題も依然として残る。

だが、新法は府にとって極やかな話ではない。松井

「ボックスの暗証番号がやはりメールで届いた。身元確認などはなかった。ミナミの繁華街まで徒歩圏内にある9階建ての新築マンション。部屋の玄関のドアノブにぶら下げてあった箱の中にカギが入っており、ドアを開けると「靴を脱いでお入りください」と、英語や中国語で書かれた紙が置いてあった。間取りは1Rタイプ。冷蔵庫や電子レンジ、洗濯機などの家電に加え、食器や調理器具などもそろっている。掃除も行き届いており、快適に過ごせた。宿泊料金は清掃料込みで7500円。大阪府の担当者によれば、「こうした施設のほとんどが無許可」といふ。

※民泊条例早くも形骸化と伝える産経新聞